

[標準様式例 7-3]

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	H30路面下空洞調査技術に関する技術検討業務
業務概要	本業務は、路面陥没防止に関する検討・資料作成等及び「公共工事等における新技術活用システムのテーマ設定型」における路面下空洞調査技術について、有用な新技術の選定に関する資料作成・検討等を行うものである。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 関東地方整備局長 泊 宏 埼玉県さいたま市中央区新都心2番地1 支出負担行為担当官 北海道開発局開発監理部長 角南 国隆 北海道札幌市北区北8条西2丁目 支出負担行為担当官 東北地方整備局長 津田 修一 宮城県仙台市青葉区本町3-3-1 支出負担行為担当官 北陸地方整備局長 小俣 篤 新潟県新潟市中央区美咲町1丁目1番1号 支出負担行為担当官 中部地方整備局長 塚原 浩一 愛知県名古屋市中区三の丸2丁目5番1号 支出負担行為担当官 近畿地方整備局長 池田 豊人 大阪府大阪市中央区大手前1丁目5番44号 支出負担行為担当官 中国地方整備局長 川崎 茂信 広島県広島市中区上八丁堀6番30号 支出負担行為担当官 四国地方整備局長 平井 秀輝 香川県高松市サンポート3番33号 支出負担行為担当官 九州地方整備局長 増田 博行 福岡県福岡市博多区博多駅東2丁目10番7号 支出負担行為担当官 沖縄総合事務局開発建設部長 中島 靖 沖縄県那覇市おもろまち2丁目1番1号
契約年月日	平成30年 7月24日
契約業者名	一般財団法人 先端建設技術センター
契約業者の住所	東京都文京区大塚二丁目15番6号
契約金額	¥59,724,000円（税込み）
予定期価格	¥59,767,200円（税込み）
随意契約によることとした理由	本業務を遂行するためには、高度な技術や経験を必要とするこことから、技術力、知識、経験及び業務への取り組み姿勢に関する技術提案を求め、簡易公募型プロポーザル方式により選定を行った。 一般財団法人先端建設技術センターは、技術提案書をふまえ当該業務を実施するのに適切と認められたため、上記業者と契約を行うものである。
業務場所	関東地方整備局管内
業種区分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間（自）	平成30年 7月25日
履行期間（至）	平成31年 2月28日
備考	会計法29条の3第4項 予決令第102条の4第3号

備考

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。